

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 28 年 11 月 18 日

理事長 松山 良一

日本初、訪日インセンティブ旅行の表彰制度がスタート

「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」-ベスト・プラクティスの共有を目指す-

～受賞者の発表と授賞式の開催について～

(概要)

○ 日本政府観光局 (JNTO) は、今年度新たに「JAPAN Incentive Travel Awards」を企画し、応募総数 21 件の中から受賞案件 3 件を決定しました。

○ 本表彰は、訪日インセンティブ旅行のベスト・プラクティスの事例の共有と表彰を通じ、国内外の MICE 関係者の訪日インセンティブ旅行への理解と意欲向上を目的として今年度より実施するものです。

○ 全世界の旅行会社やミーティングプランナーより開催地の特色を活かしたプログラムを募集し、インセンティブ旅行実施後に主催企業が得られた効果や、新しいデバイスを利用した斬新なイベントの実施、また地域文化の魅力発信や地域の方との交流を通じた地方創生という点において特に優れている企画を選出しました。

受賞した案件の詳細は別紙の通りです。

※インセンティブ旅行 (Incentive Travel) とは、主に企業が販売促進のために優れた成績者に対する報奨あるいは奨励の意味で行う招待旅行。

受賞者

【大賞】

- ・ イベント名 : 幸福生根 北國續語 104 年度高極峰會議
- ・ 受賞者 : 雄獅旅行社 (台湾)

【企画賞】

- ・ イベント名 : Chaumet - Hurry up for sales
- ・ 受賞者 : teamtravel premium GmbH (ドイツ)

【貢献賞】

- ・ イベント名 : Millennium Achievers Tour
- ・ 受賞者 : JTB Australia Pty Ltd (オーストラリア)

※詳細別紙のとおり



【ロゴマーク】

1. 「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」授賞式概要

日 時 : 平成 28 年 12 月 7 日 (水) 13 : 30 ~ 14 : 30

場 所 : パシフィコ横浜「第 26 回 国際ミーティング・エキスポ (IME 2016)」
 会場内 (神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1)

2. 取材について

取材を希望される記者の皆様は、当日、会場内の報道関係者受付までお越しください。

- (添付) ・別紙 1 「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」実施概要
 ・別紙 2 「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」受賞者詳細

本件に関するお問い合わせ先 :
 コンベンション誘致部 塩田、谷口 (担当)、芝池 (担当)
 TEL: 03-3216-2905



「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」実施概要

1. 名称
JAPAN Incentive Travel Awards 2016
2. 主催者
日本政府観光局（JNTO）
3. 目的
訪日インセンティブ旅行を表彰し、新たな訪日インセンティブ旅行市場の新規開発・活性化を図る。
4. 対象
2015年4月1日～2016年3月31日(出発日)までに実施された50名以上、滞在期間3日以上または100人泊^{※1}以上の訪日インセンティブ旅行。
※1 人泊とは、参加者1名が1泊した数（例：20名×5泊＝100人泊）
5. 応募資格
全世界の旅行会社やミーティングプランナー等、訪日インセンティブ旅行コンテンツの企画者。
6. 応募期間
2016年10月6日（木）から10月25日（火）
7. 応募方法
応募フォームにしたがって、必要事項を記入のうえ、専用WEBページより公募。
8. 表彰案件
審査により3件程度を表彰（大賞、企画賞、貢献賞）
9. 表彰基準（抜粋）
 - ・ 旅行開催後に得られた主催者の効果
 - ・ 地域への貢献
 - ・ 新規ルートの開発（ゴールデンルート以外の地域を訪問）
 - ・ アトラクションやユニークベニューの利用等、斬新な企画
 - ・ 環境に配慮した運営等、新たな試み
10. 審査
4名の有識者による審査委員会が機構の策定する表彰選考基準に準じ、審査を行う。
11. 表彰式
2016年12月7日（水）13：30～14：30
「国際ミーティング・エキスポ（IME2016）」開催期間中に開催

12. 記念品・副賞
 - ・ 表彰式への招待（ビジネスクラスの利用、東京都内及び近郊の新たな観光魅力の視察提供）。
 - ・ クリスタルトロフィーの授与。
13. その他
 - ・ 広報活動に活用できるロゴマークの授与。



JAPAN Incentive Travel Awards 2016 ロゴマーク

以上

「JAPAN Incentive Travel Awards 2016」受賞者

大賞

イベント名	幸福生根 北國續語 104 年度高極峰會議		
受賞者	雄獅旅行社	所在国・地域	台湾
旅程（抜粋）	<p>【1 日目】 500 名の旅程 新千歳空港経由で洞爺温泉着</p> <p>【2 日目】 観光（洞爺温泉、有珠山ロープウェイ、有珠山火口原展望台、登別）</p> <p>【3 日目】 観光（登別地獄谷、星野リゾートトマム、水の教会）</p> <p>【4 日目】 観光（星野リゾートトマムで雲海鑑賞、頭大仏、札幌芸術の森美術館）</p> <p>【5 日目】 4 コースより選択し、自由行動。 ① 札幌⇒ニッカウヰスキー余市蒸留所⇒小樽運河⇒白い恋人工場見学 ② 札幌⇒アルテピアッツァ美唄⇒狸小路商店街 ③ 札幌⇒千歳アウトレットモール・レラ⇒狸小路商店街 ④ 終日自由行動</p> <p>【6 日目】 観光（札幌、モエレ沼公園）後、有名人による講演を取り入れたディナーパーティー。</p> <p>【7 日目】 三井アウトレットパーク札幌北広島で観光後、帰国。</p>		
	<p>【1 日目】 6,000 名の旅程 札幌着</p> <p>【2 日目】 4 コースより選択し、自由行動。 ① 札幌⇒ニッカウヰスキー余市蒸留所⇒小樽運河⇒白い恋人工場見学 ② 札幌⇒札幌芸術の森美術館⇒モエレ沼公園⇒狸小路商店街 ③ 札幌⇒千歳アウトレットモール・レラ⇒狸小路商店街 ④ 終日自由行動</p> <p>【3 日目】 観光（アルテピアッツァ美唄、旭山動物園、男山酒造り資料館、層雲峡銀河・</p>		

	<p>流星の滝) 【4日目】 観光（層雲峡、第五音更川橋梁、紫竹ガーデン、十勝千年の森）後、ディナーパーティー。 【5日目】 観光（十勝、幸福駅、三井アウトレットパーク札幌北広島）後、帰国。</p>
<p>受賞理由</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者 6,500 人と非常に大規模なインセンティブ旅行で、北海道を周遊しており、旅程に工夫が見られる。 2. 有名人による講演会や野球観戦で台湾人野球選手の応援を行う等、通常の旅行では体験できないインセンティブ旅行ならではの特別なイベントを実施している。 3. 公益財団法人札幌国際プラザとも連携しており、地域の特徴をとらえた旅行である。 4. 地元メディアでの露出があり、インセンティブ旅行の認知度向上に貢献。

【旅行の様子】



企画賞

イベント名	Chaumet - Hurry up for sales		
受賞者	teamtravel premium GmbH	所在国・地域	ドイツ
旅程（抜粋）	<p>【1日目】 東京着後、ホテルでのウェルカムディナー。</p> <p>【2日目】 企業幹部によるプレゼンテーションやゲストスピーカーによる講演を取り入れたミーティング後、銀座本店を訪問。料亭での日本の伝統的な形式での夕食。</p> <p>【3日目】 チームビルディング（iPad を利用した東京シティラリー）や和太鼓体験。屋形船での夕食。</p> <p>【4日目】 帰国</p>		
受賞理由	<ol style="list-style-type: none"> iPad という新しいデバイスを利用した東京でのシティラリーの企画は、チームビルディングとして斬新なアイデアであり、他都市でも応用可能な新しい企画として発展性が高い。 シティラリーを通じて地域の人々とのコミュニケーションを取り入れている点も高く評価。 		

貢献賞

イベント名	Millennium Achievers Tour		
受賞者	JTB Australia Pty Ltd	所在国・地域	オーストラリア
旅程（抜粋）	<p>【1日目】 東京着</p> <p>【2日目】 自由行動後、三菱開東閣にてディナーパーティー。</p> <p>【3日目】 東京から岡山へ移動し、岡山観光（後樂園、岡山城）。割烹料理屋での夕食。</p> <p>【4日目】 直島観光（ベネッセハウスミュージアム、地中美術館）</p> <p>【5日目】 徳島観光（瀬戸大橋、栗林公園、鳴門うずしお観潮、大塚美術館）</p> <p>【6日目】 神戸観光（酒心館、宝塚歌劇団鑑賞）</p> <p>【7日目】 徳島観光（眉山ロープウェイ、阿波おどり会館）と阿波おどり鑑賞・参加。</p> <p>【8日目】 帰国</p>		
受賞理由	<ol style="list-style-type: none"> 1. 少人数だが、東京、岡山、香川、徳島、神戸と西日本を中心に広く周遊しており、それぞれの都市において阿波踊りへの参加等、各地の特徴を活かしたプログラムを実施し、地域文化の魅力発信と地方創生に貢献している。 2. 移動距離が長いが、各都市で観光する時間が十分に確保されており、効率よく周遊している点で旅程に工夫が見られる。 		